

食流機構

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
<http://www.ofsi.or.jp/>

2021

2月号

No.302

OFSI

I N D E X

- | | |
|---|---|
| 巻頭言 | ② |
| 第8回「食品産業もったいない大賞」受賞者決定 | ③ |
| 第8回「食品産業もったいない大賞」
農林水産大臣賞受賞者の取り組み | ④ |
| 第30回優良経営食料品小売店等表彰事業 表彰式典の中止について
「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」提言 | ⑤ |
| 地方卸売市場の都道府県認定状況について | ⑥ |
| 「農林水産統計情報」 | ⑧ |

巻頭言

今年の正月は、新型コロナウイルスの感染を避けるため、特に高齢者は不要不急の外出は控えるべきとの考えから、1月2日に近くの神社に初参りをしたのと毎日自宅の近辺を散歩する以外は巣ごもり状態で過ごした。

このような正月の過ごし方は初めてであったが、そのおかげで多くの方々からいただいた年賀状をじっくりと見る時間があった。

かつては職場や仕事関係の半ば儀礼的な年賀状が多かったが、近年それらは減少し、学生時代からの古い友人や職場や仕事を通じて知り合っただけの後、個人的にまたは集団としてお付き合いが続いている人からの賀状の割合が多くなっている。それゆえ個々の賀状もその人となりを顕わすものが多く、昨年1年の本人や家族の状況が記されたもの、あるいは趣味の写真や書画の作品などを添えてあるものなどを大変楽しく拝見できた。また、コロナ問題についての考えなどを書かれているものもあった。もちろん儀礼的または定型的なものであっても、コロナ禍の中でなかなか会う機会のない人からの賀状はいわば生存証明的な意味もあり、その人との絆を確認出来てうれしく拝見した。

他方高齢や施設に入るなどの生活環境の変化を理由に今後新年の挨拶を遠慮したいという内容の賀状も何枚かいただいた。やがては自分もそうなるかもと身につまされる思いのするのを禁じえなかった。また、昨年この世を去られた旨の挨拶がご遺族から送られてきたのを見るとこの世に自分を知る人がまた一人いなくなったとさみしい気持ちに襲われた。しかし、このように賀状を通じて、これまで親交のある人々との絆を改めて感じることはできたのは、例年と違った時間の過ごし方ができたことによるものだと改めて気が付いた。

年初から首都圏をはじめ11の都府県に緊急事態宣言が発出され、三密を避け、不要不急の外出はしないようにする、また飲食業などの営業時間を短縮する、出勤日数を削減し、在宅勤務やテレワークを増やすなど様々な面で時間の過ごし方を変えざるを得ない状況にある。これらの状況はこれまでと違う生活を強いるものであり、マイナス面が強く感じられるが、この際これまでおろそかにしてきた自分の時間の過ごし方を見直し、新しい発見ができれば、マイナスばかりではないと思える。

コロナの感染拡大がいつまで続くのか、ワクチンの接種が始まれば終息に向かうのか、東京オリンピック・パラリンピックは今年の夏本当に開催できるのかなど先の見通せない不安な年明けであるが、コロナが収束した時点では仕事の仕方も自分の生活もこれまでとかなり異なったものとなると思われる。その際、これまで忙しく時間に追われるような生活の中で見落としていたことを掘り上げ、より充実した時間の過ごし方ができるようにしたいと思う。尤もそれまでコロナに感染せず無事生きていければの話であるが。

読者の皆さんが、コロナに負けずに事業や仕事の維持発展を図られるとともに新たな環境に適した生活スタイルを構築されるよう切に願っている。

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構
会長 馬場 久萬男

第8回「食品産業もったいない大賞」 受賞者決定

当表彰は、食品産業の持続可能な発展に向け、「省エネルギー・CO2削減」、「廃棄物の削減・再生利用」、「教育・普及」等の観点から、顕著な実績を挙げている食品関連事業者並びに食品産業によるこうした取組を促進・支援している企業・団体及び個人を広く発掘し、その取組内容を表彰するとともに、取組内容を広く周知することにより食品産業全体での地球温暖化防止・省エネルギー対策及び食品ロス削減等を促進することを目的としています。

東日本大震災を契機に見直されている「もったいない」の思いこそが、地球温暖化・省エネルギー対策に取り組む原動力となると考え、これを大賞の冠名としています。

今年度は、全国から企業や団体、学校など43点の応募がありました。

いずれも「もったいない大賞」の理念にふさわしい優れた内容でしたが、先進性・独自性、地域性、継続性、経済性、波及性・普及性、地域温暖化防止・省エネルギー効果等の観点から審議を重ねた結果、下記9点の取組を選定致しました。

賞名	受賞者名 / 取組内容	所在地
農林水産大臣賞	◆生活協同組合コープこうべ	兵庫県神戸市
	組合員・地域とすすめる食品ロス半減	
農林水産省食料産業局長賞	◆公益財団法人 Save Earth Foundation	東京都大田区
	全国初！外食事業者5社連携による飼料化の共同食品リサイクルループ構築 ～食のサーキュラーエコノミーを目指して～	
	◆ミチナル株式会社	岐阜県高山市
	農家さんのもったいないの気持ちを繋いで廃棄ほうれん草を地域の宝へ	
	◆三重県立相可高等学校	三重県多気郡多気町
	バイオマス産業のまちづくりを目指して～消化液の農業利活用の取り組み～	
食品産業もったいない大賞 審査委員会審査委員長賞	◆日清食品ホールディングス株式会社	東京都新宿区
	「カップヌードル」への環境配慮型容器「バイオマスECOカップ」の採用、 並びに「ごみ発電電力」の使用による、気候変動対策および資源有効活用の推進	
	◆株式会社艶金	岐阜県大垣市
	食品残渣の色素利用の染色布（「のこり染」）使用の生活雑貨商品	
	◆株式会社ビューティフルスマイル	大阪府大阪市
	食品メーカーで発生する「もったいない」食品に光をあて、 消費者に直接つなぐことで食べきりを目指すプラットフォーム「ロスゼロ」	
	◆大阪いずみ市民生活協同組合	大阪府堺市
	「もったいない」をなくしたい！	
◆長崎県立諫早農業高等学校	長崎県諫早市	
規格外温州みかんが生み出す新たな地域興しと廃棄物の再利用		

「食品産業もったいない大賞」の表彰式及び事例発表会は、令和3年1月22日（金）千代田区立内幸町ホールにて開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症を巡る状況を踏まえ、表彰式典は中止し、WEB事例発表会を令和3年2月5日（金）に行うことにしました。

受賞者による事例発表と、参加者からの質疑応答を予定しています。

参加を希望される方は下記アドレス内の参加申込フォームよりお申し込み下さい。

<http://www.ofsi.or.jp/mottainai/pr8/>

<問い合わせ先> 業務部 杉本 TEL：03-5809-2176

第8回「食品産業もったいない大賞」 農林水産大臣賞 受賞者の取組み

受賞者名	生活協同組合コープこうべ（兵庫県神戸市）
応募名称	組合員・地域とすすめる食品ロス半減
URL	https://www.kobe.coop.or.jp/



目的	一人ではできないことも、みんなの力を合わせて、願いや夢をかたちにする「愛と協同」の精神を活動の原点としており、店舗で発生する野菜くずや食物残渣を廃棄することなく有効活用したいとの組合員の思いを実現させるため、1998年「環境共生型農園構想」に賛同した三木市の農家と連携してエコファームを設立。ここから食品リサイクル・食品ロス削減の活動が始まった。
取組内容	<p>①環境共生型農園「エコファーム」 店舗の野菜くず・肉の加工くずを回収して堆肥を作る実験は1995年から始まっている。1998年にはコープ土づくりセンターと、隣接する（有）みずほ協同農園をあわせて「エコファーム」として発足。専用の回収車が店舗や食品工場で有機資源を回収し、土づくりセンターに搬入して堆肥化。13haのエコファームでその堆肥を使って野菜を栽培し、各店舗で供給する。店舗によっては「エコファーム」コーナーを設置し、資源循環の意義を伝えている。</p> <p>②食品工場でのバイオマス発電 六甲アイランド食品工場では、パンや豆腐などを生産している。2003年にバイオマス発電施設を導入し、工場で発生する食物残渣の97%を電力と蒸気に変換して食品工場で使用している。</p> <p>③フードドライブ運動 2015年宅配でやむなく返品となった食品を、NPO法人フードバンク関西に提供することから、余剰食品の提供が始まった。事業のみならず、組合員家庭から発生する食品ロスを減らすべく、家庭から食品を持ち寄るフードドライブ運動を開始。当初は期間と店舗を限定した活動だったが、現在では40店舗で常時食品を受け付け。店舗が少ない地域では、宅配の配達時にも食品を回収している（期間限定）。集まった食品は、直接もしくは社協やフードバンクを通じ、福祉施設や生活困窮者に無償提供している。</p> <p>④店舗での廃棄ロス削減「もったいないプロジェクト」 食品リサイクルや食材提供に先立ち、まずは食品ロスを発生させない取り組みを優先。自動発注のロジック変更、納品リードタイムの短縮、発注の小ロット化等、商品管理のルールを見直して、過剰在庫を未然に防止など、取り組んでいる。</p> <p>⑤すぐに食べるなら「てまえどり」運動 組合員とともにすすめる食品ロス削減の取り組みとして、期限の近い食品や値引き品を優先購入する行動を呼びかけ。組合員グループの自主的な取り組みからスタートし、2018年には神戸市と連携。2019年には全店舗で実施されている。「すぐに食べるなら、手前から取ってね！」POPを作成するなど、店内で呼びかけている。食べ比べ試食を行い啓蒙にも努めている。</p>
効果	食品工場で発生する生ゴミは1日2.2t。バイオマス発電で1日1440kWhの電力と5tの蒸気がエネルギーとして生み出されている。売場で発生する食品の廃棄ロスは全体で15%削減を実現した。総量では年間1700t以上の削減となる。
今後の展開	環境チャレンジ目標「エコチャレ2030」の中で「食品廃棄物を半減！」を明記している。食品リサイクルを更に強化する一方、店舗での食品ロス発生を更に減少させる。組合員の家庭においても食品ロスを減らすための啓発活動を強化する。
評価	食品ロス削減活動は既に20年を越えている。エコファームによる食品リサイクルではじまり、食品工場のバイオマス発電、フードドライブ、もったいないプロジェクト、てまえどり運動へと、総合的な取組を行ってきた。組合員約171万人は自主的に勉強会や啓蒙活動を行っており、その声を事業活動に取込、時流に合わせ「もったいない」活動で実現している。さらに、創業100周年に向けて、高い目標を掲げている。

第30回優良経営食料品小売店等表彰事業 表彰式典の中止について

令和3年2月22日(月)に東京都千代田区法曹会館にて開催される予定でしたが、新型コロナウイルス感染症を巡る状況を踏まえ、表彰式典は中止としました。

受賞された店舗・商店街については、一覧と受賞ポイントをまとめた「受賞店の概要」をホームページに掲載します。

また、当機関誌でも順次受賞内容をご紹介します。

URL <http://www.ofsi.or.jp/concours/rireki/>

※「令和2年度(第30回)」の記載からご覧下さい。(注:2月22日以降掲載)

<問い合わせ先> 総務部 穴見 TEL:03-5809-2175

「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」提言 ～「簡素で滑らかな物流」、「担い手にやさしい物流」、 「強くてしなやかな物流」の実現に向けて～」

国土交通省が主となって経済産業省、農林水産省の3省が事務局を行う「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」において、次期総合物流施策大綱の策定に向けて、今後の物流施策の在り方について検討が行われました。その提言が取りまとめられましたのでお知らせします。

■概要

我が国の物流が直面する課題は、今般の新型コロナウイルス感染症の流行による社会の劇的な変化も相まって、より先鋭化・鮮明化しているといえます。提言では、そうした課題に対応した施策に重点的に取り組むべきとした上で、以下3つの観点から取り組むべき施策の方向性が示されています。

1. 物流DXや物流標準化の推進によるサプライチェーン全体の徹底した最適化(簡素で滑らかな物流の実現)
2. 労働力不足対策と物流構造改革の推進(担い手にやさしい物流の実現)
3. 強靱で持続可能な物流ネットワークの構築(強くてしなやかな物流の実現)

■添付資料

「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」提言の概要(PDF:481KB)

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokusan/ryutu/attach/pdf/201223-1.pdf>

■参考

令和2年7月以降7回にわたり、学識経験者等からなる「2020年代の総合物流施策大綱に関する検討会」が開催されています。提言の詳細や開催状況、資料等につきましては国土交通省ホームページを御参照ください。

http://www.mlit.go.jp/seisakutokatsu/freight/seisakutokatsu_freight_tk1_000180.html

<問い合わせ先>

農林水産省食料産業局食品流通課

担当者:井上、吉原、河越

代表:03-3502-8111(内線4324)

ダイヤルイン:03-3502-5741 FAX:03-3502-0614

地方卸売市場の都道府県認定状況について

令和2年6月21日に改正卸売市場法が施行されたことで、各都道府県では同法第13条第1項の規定に基づく地方卸売市場の認定を順次行いホームページなどで公開しています。

今回は、現在公開されている中国地域（山陽）、四国地域の認定状況第6弾をご紹介します。（表内の年月日については、各都道府県広報誌等やホームページの公表日としております。）

注）改正卸売市場法第13条第1項…卸売市場であって第5項各号に掲げる要件に適合しているものは、当該卸売市場の所在地を管轄する都道府県知事の認定を受けて地方卸売市場を称することができる。

都道府県名	地方卸売市場名	
広島県 〈県告示第797号 令和2年7月2日分〉より	<ul style="list-style-type: none"> 呉花き地方卸売市場 地方卸売市場竹原流通センター 三次総合地方卸売市場 呉市地方卸売市場 	<ul style="list-style-type: none"> くば漁業協同組合地方卸売市場 広島県東部花き地方卸売市場 尾道地方卸売市場 地方卸売市場糸崎水産市場
山口県 〈令和2年6月21日現在〉	<ul style="list-style-type: none"> 山口県農業協同組合 南すおう地方卸売市場 // 安岡地方卸売市場 // 長門地方卸売市場 山口青果地方卸売市場 防府市公設青果物地方卸売市場 下関市地方卸売市場新下関市場 山口花き地方卸売市場 下関合同花き地方卸売市場 山口県漁協防府地方卸売市場 山口県漁協仙崎地方卸売市場 山口県漁協湊地方卸売市場 	<ul style="list-style-type: none"> 山口県漁協萩地方卸売市場 山口県漁協江崎地方卸売市場 地方卸売市場山口魚市場 周南市地方卸売市場水産物市場 宇部市地方卸売市場 下関市地方卸売市場唐戸市場 下関市地方卸売市場南風泊市場 下関市地方卸売市場特牛市場 下関漁港地方卸売市場 岩国市地方卸売市場 周南市地方卸売市場
香川県 〈令和2年6月21日～ 令和2年8月17日公表分〉	<ul style="list-style-type: none"> 株式会社観音寺地方卸売市場 高松市公設花き地方卸売市場 香川県坂出食肉地方卸売市場 高松市食肉卸売市場 引田漁業協同組合地方卸売市場 伊吹漁業協同組合観音寺地方卸売市場 	<ul style="list-style-type: none"> 東讃漁業協同組合地方卸売市場 香川県中部地方卸売市場 観音寺漁業協同組合地方卸売市場 香川県東部地方卸売市場 坂出水産地方卸売市場 志度地方卸売市場
徳島県 〈令和2年6月22日現在〉	<ul style="list-style-type: none"> 鳴門地方卸売市場 地方卸売市場小松島合同青果株式会社 地方卸売市場鴨島青果株式会社 地方卸売市場脇町青果株式会社 地方卸売市場株式会社徳島共進生花市場 地方卸売市場株式会社徳島花市場 	

都道府県名	地方卸売市場名
<p>愛媛県 <県報告示 119・120・121・127・131・134・135・145・157号より></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜市水産物地方卸売市場 ・地方卸売市場株式会社丸八農協青果市場 ・地方卸売市場株式会社宇和島青果市場 ・丸協宇和島青果販連地方卸売市場 ・地方卸売市場愛媛たいき農業協同組合青果市場 ・地方卸売市場株式会社八幡浜青果市場 ・宇和島水産物地方卸売市場 ・今治地方卸売市場 ・松山市公設花き地方卸売市場／水産地方卸売市場 ・伊予連合農協青果地方卸売市場 ・伊予三島中央青果株式会社地方卸売市場 ・川之江青果協同組合地方卸売市場 ・地方卸売市場愛媛青果
<p>高知県 <令和2年6月21日現在></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・幡多公設地方卸売市場 ・地方卸売市場高知県中央青果市場 ・地方卸売市場有限会社芸西青果市場 ・地方卸売市場株式会社赤岡青果市場 ・地方卸売市場南国青果協同組合 ・地方卸売市場土佐中央青果卸売株式会社 ・高知県西部地方卸売市場 ・地方卸売市場須崎中央青果株式会社 ・地方卸売市場株式会社宿毛中央青果市場 ・地方卸売市場株式会社土佐花き園芸市場 ・地方卸売市場株式会社高知県生花市場 ・地方卸売市場株式会社高知中央植物市場 ・地方卸売市場須崎魚市場 ・すくも湾中央市場地方卸売市場 ・地方卸売市場高知県漁協甲浦魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協佐喜浜魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協椎名魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協三津魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協高岡魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協室戸岬魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協室戸魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協手結魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協御畳瀬魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協宇佐魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協佐賀魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協清水魚市場 ・地方卸売市場高知県漁協窪津魚市場 ・地方卸売市場奈半利町漁業協同組合魚市場 ・地方卸売市場安芸漁業協同組合魚市場 ・地方卸売市場野根漁業協同組合魚市場 ・高知市公設水産地方卸売市場

農林水産統計情報

令和2年4月～令和3年3月までの公表予定より

(https://www.maff.go.jp/j/tokei/sokuhou/yotei/attach/pdf/index_nenkan_r2-5.pdf)

農林水産省（大臣官房統計部及び各局庁等）が公表している農林水産統計について、令和3年2月に掲載が予定されている生産・流通に関する資料名を紹介します。

資料名	収録内容	担当課（室）
大臣官房統計部		
・令和2年産春植えばれいしょの作付面積、収穫量及び出荷量	全国・主県別の作付面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量	生産流通消費統計課
・令和2年産かんしょの作付面積及び収穫量（北海道）	全国・農業地域別・都道府県別・田畑別の作付面積、10a 当たり収量及び収穫量	生産流通消費統計課
・令和2年産日本なし・ぶどうの結果樹面積、収穫量及び出荷量	全国・都道府県別の結果樹面積、10a 当たり収量、収穫量及び出荷量	生産流通消費統計課
・令和2年産茶の摘採面積、生葉収穫量及び荒茶生産量	全国・都道府県別の摘採実面積、茶期別摘採面積、10a 当たり生葉収量、茶期別生葉収穫量及び茶期別荒茶生産量	生産流通消費統計課
・令和2年産こんにゃくいもの栽培面積、収穫面積及び収穫量（主産県）	主産県別の栽培、収穫面積、10a 当たり収量及び収穫量	生産流通消費統計課
・令和2年産小豆、いんげん及びらっかせい（乾燥子実）の収穫量	小豆、いんげん及びらっかせいの全国主産県別の10a 当たり収量及び収穫量	生産流通消費統計課
生産局		
・平成30年産特産果樹生産動態等調査	主要果樹の品質別栽培面積、収穫量等、特産果樹の種類別栽培面積、収量等	園芸作物課

編集後記

▶ 今年度の「優良経営食料品小売店等表彰」における表彰式典は中止とさせていただきます。例年賞状授与を行い、その後の懇親会で交流を深めていただく場であったのですが残念です。中止となるのは東日本大震災以来となります。

今年は地元へ貢献し地元を元気にする、それがお店の繁盛につながる、そんな良い循環を作り上げているお店が見受けられました。

▶ 寒い日が続き、体調を崩す方も多いかと思われます。コロナウイルスもさることながら、皆様ご慈愛下さい。（A）